

## 第 6 学 年 外 国 語 活 動 指 導 案

授業者 HRT 清水 道晃  
ALT Gaston

- 1 題材名： 道案内をしよう (2時間目 / 4時間)
- 2 本時の学習
  - (1) 日 時：平成22年 2月 8日 (月) 5校時 (13:50～14:35)
  - (2) 場 所：6年教室
  - (3) ねらい：道案内をする時や尋ねる時の表現を知り、簡単な会話に慣れる。
  - (4) 言語材料：Where is (施設) ?  
school, police box, bank, bookstore, flower shop, bus stop, hospital, post office など  
Go straight. Turn right / left. stop.
  - (5) 展 開：

時間	子どもの活動	教師の支援 (含むALT)	備 考
1	1 あいさつ	T:Let's begin! S:OK!	英語ノート
5	2 建物、施設の名前を復習する ・チャンツ  school, police box, bank, bookstore, flower shop, park, hospital, bus stop, post office supermarket, restaurant 等	○建物の名前の絵地図を指しながら発音させる。 〔A〕チャンツのリズムに合わせて発音練習させる。 ☆日本語的発音にならないように注意させる。	リズムボックス 拡大絵地図
5	3 ゲームをする。 ・神経衰弱 (Concentration Game)	○班になり、神経衰弱の要領で絵カードをめくり、絵を見て”It's the ○○. と答えることを知らせる。 ★建物等の単語に親しんでいるか。	英語ノート 絵カード (巻末)
12	4 道の教え方を知る  ①サイモンセツズゲーム (Simon says Game) ②ペアになって練習する。	Go straight. Turn right / left. stop.  〔A〕 Go straight. Turn right / left. stop. の指示に従って体をその方向に動かすゲームをさせる。 ○方向の指示を出す人と従う側になって練習させる。	
5	5 道案内を聞き取る。 ・施設あてゲーム (教師→児童)	○教師が指示したとおりに道をたどり、到着した施設を答えさせる。 〔A〕進む方向の指示を出す	拡大地図
13	6 道案内する。 ①尋ねる言い方を知る。  A : Excuse me. Where is the (施設) ? B : Go straight... A : Thank you. B : You are welcome.	○〔A〕会話のデモンストレーションをする。 ☆「Where is the ○○?」という尋ねる言い方に十分慣れさせる。	
	②ペアになって道案内し合う。	★児童と教師のとのやりとりで発音等を	英語ノート

3	7 今日の活動を振り返る。 ・振り返りカードに記入する。 < any questions >	確認する。 ★活動のまとめと< any questions >で優れたものを取り上げる。	の絵地図								
<table border="1"> <tr> <td>もどる :</td> <td>Go [Come] back.</td> </tr> <tr> <td>横断 :</td> <td>Cross the street.</td> </tr> <tr> <td>隣 :</td> <td>Next to.</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">など</td> </tr> </table>				もどる :	Go [Come] back.	横断 :	Cross the street.	隣 :	Next to.		など
もどる :	Go [Come] back.										
横断 :	Cross the street.										
隣 :	Next to.										
	など										
1	7 おわりのあいさつをする。	<table border="1"> <tr> <td>T:Let's finish!</td> </tr> <tr> <td>S:OK!</td> </tr> </table>	T:Let's finish!	S:OK!							
T:Let's finish!											
S:OK!											

○教師の活動      ★観察ポイント      ☆支援のポイント      [A] ALTの支援

### 3 成果と課題

#### 【 成果 】

- ・キーボードを使ったリズムを使って「チャンツ」で既習単語（施設、店）の復習をしたのは、テンポ良く、短時間で子供たちが集中して学習に取り組むことができ良かった。
- ・「方向」を表すセンテンスに親しませるために、身体を使ったゲームを取り入れた結果、子どもたちがセンテンスの意味を動作で確認することにつながり、楽しみながら活動することにつながった。
- ・絵地図を利用することにより、施設の位置関係がはっきりし、子どもたちが意識しやすくなったので、今後も活用していきたい。
- ・道案内は、自分が考えた道順を相手に伝える場面があり、自分で判断し、その道案内に必要なセンテンスを考え、表現していく活動となるので、現実の生活にもつながり、子どもたちのコミュニケーション活動を促すのに適していた。
- ・本授業は、ALT との TT の授業形態であったが、ALT がネイティブな発音を例示したことにより、子どもたちもネイティブな発音を習得しようとする意欲的に取り組む姿が見られた。

#### 【 課題 】

- ・導入の場の設定に工夫が必要だった。
- ・学習内容が多すぎたため、中心的な活動が予定通りに展開されなかった。内容を精選して授業展開をすれば、課題にゆとりを持って取り組めるのではないか。
- ・CDなどを利用して、歌などを取り入れることで、子どもたちがより意欲的に取り組めるのではないか。
- ・HRT はクラスルームイングリッシュを使うように努めているが、その場にふさわしい表現ができないことが多くどうしても日本語が多くなってしまう。発音の善し悪しに関わらず、臨機応変に使えるよう研鑽していくことが必要である。
- ・本授業では、英文を文字として提示しなかったが、子どもたちは、発音をカタカナでメモしている場面が見られた。できるだけネイティブな発音を聞き取れるように促していきたい。
- ・教材として活用する地図は、出来るだけ子どもたちの身近な実感が持てる内容のものがよい。
- ・ゲームは、単純なもので、普段から親しんでおくようにする。ゲーム内容が複雑になると、説明に時間がかかってしまったり、学習内容ポイントが「ゲームを行う」ことになってしまいがちなので留意していきたい。
- ・ALT との事前打ち合わせをしたが、HRT の意図が伝わっていない場面があり、より綿密な打ち合わせや確認が必要であった。日本語がよく分からない ALT とコミュニケーションをいかに取っていくかが課題である。

#### 【 子どもたちの振り返りカードから 】

- ・地図を見てどの道に行くか考えたり、方向について動作を使って練習したりするのが楽しかった。
- ・いろいろな道順を考えて、英語で表現できたところが特に楽しかった。
- ・道案内する新しい言い方を覚えたので、今度使ってみたい。(生かしたい、出来そうな気がする)
- ・他に、方向や場所を示す英語があったら知りたい
- ・道案内が上手に出来たのでうれしかった。
- ・リズムを使ったゲームが楽しくでき、またやりたい。
- ・英語の発音の仕方にもっと気をつけたい。もっとスラスラ言いたい。
- ・英語の歌や踊りにも挑戦したい。